

# JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



No.13

1997年4月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会  
 協会事務局 〒160 東京都新宿区大京町31  
 ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
 編集事務局 〒125 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

## 高等教育機関としての専門学校

日本自動車整備専門学校校長 椎野 武  
 全国自動車整備専門学校協会理事



このところ専門学校が高等教育機関の一つとして、大学、短大と並んで論じられるようになって来ました。社会的にも認知されつつあり、喜ばしいことと思います。

義務教育から大学教育まで、日本の教育制度が大きな問題として取り上げられている今、もう一度、私達専門学校についても高等教育機関としての役割を考え、将来に向かって手を打っていく必要があると思います。そのために私なりに日頃思い、また試行を始めたことなどを記させて頂き、諸先輩先生方のご批判を仰ぎたいとペンを取りました。

### もっとやるべきことは…

今年の春も無事に500名を超える整備士の卵を社会に送り出すことが出来ました。毎年、これまでの2年間で、将来の中堅エンジニアとして活躍出来るだけの十分な教育・訓練が出来たのか、もっとやっておくべきことはなかったかとの思いに駆られます。

一方、車のことは何も判らないと不安な気持ちで、とにかく整備士を目指して入学して来た新入生が、わずか2年の間に車の技術知識、整備技術を身につけ、社会人としての自覚も芽生え、入学時とは見違えるように成長を遂げたことも、疑問の余

地がありません。新しいことを吸収する力を見せてくれた彼らを卒業式で送り出せることは、教育に携わる者の喜びです。

### 遅咲きでも咲かせてあげる

整備士国家資格の取得、職業人としての訓練など私達協会会員校は、研鑽を重ね、今日まで日本の自動車整備業界における有為なエンジニアを輩出し、車社会を支えて来たことにもっと誇りを持っていいと思います。

しかし、職業訓練機関としてみれば、充分なことが出来ているとしても、高等教育機関として見たとき、もっと大きな望みをもって取り組む必要を感じています。専門学校においても、従来、大学教育が担っていた、将来の社会が要請する人材、更には変革の夢を描けるリーダー足りうる技術者の育成訓練が迫られているような気がしております。中学、

高校時代、自分の能力を発揮出来なかったかも知れない彼らの潜在能力を、たとえ遅咲きであっても、花咲かせてあげる使命があるのではないかという観点から、カリキュラム、教育の進め方などの変革はもとより、専門分野以外の一般教養講座の充実など、工夫を凝らす必要性を感じています。

### 目を輝かせる学生たち

当校では昨年度から研究科を開設し、実技や研修を進めるに当たって極力自分で課題を持って取り組ませたり、更に自分の企画でテーマを決めて実験・調査をし、卒業論文を提出させました。当初は戸惑いもありましたが、彼らが充分目を輝かせて成果をあげたことに、第一歩として満足しているところです。専門科においても、選択授業などで新機構研究的な時間を作り、自分達の力で問題に取り組む授業を導入したり、一  
 (2頁左上段へ続く)

### CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・生涯教育
- 6面 協会トピックス
- 7面 話題・地区通信
- 8面 私の教授法・編集後記